

令和2年度入学生向け

「履修登録」簡単マニュアル

～「自分の時間割」をつくるために～

はじめに 高校までとの違い

大学にはホームルームがない!!

大学には、ホームルーム、つまり「自分のクラスの教室」がありません。授業（講義や演習=ゼミなど）は、すべて指定された教室や演習室で行われ、自分が受講する科目ごとに、それらの部屋に移動して受講することになります。

時間割は自分で作る!!

大学には「学年・クラスごとの時間割」がありません。時間割は1年間を前期と後期の2つに分けて、それぞれの学期ごとに全学年共通のものが用意されます。手元には前期の時間割が届いているはずですが、それを見れば分かるように、月曜日から金曜日まで1日5限ずつ、全部で25限のコマが配置されています（授業1限＝「1コマ」）。それぞれのコマには複数の科目が配置されています。「履修登録」とは、各コマの中から自分が履修する授業を選択し（指定されるものもある）、届け出ることをいいます。その結果、各人に「自分の時間割」ができることになります。

卒業は獲得ポイント数で決まる!!

大学では、登録した授業を半期のあいだ（一部は通年、つまり1年通しで）受け、それぞれの科目ごとに期末試験やレポート課題などにより評価され、点数がつけられます（評価方法はweb上の『講義要綱-SYLLABUS-』に、科目ごとに書いてあります。ただし、今年度は授業開始後変更が伝えられるかもしれません）。この評価により60点以上の点数をとると、「単位」という、一種のポイントがもらえます。このポイントは、それぞれの授業ごとに指定されており、『履修の手引き』の「カリキュラム表」に、「単位数」として示してあります。このポイントを、指定された要件に従って取得し、卒業要件単位を満たすと、卒業が認められます（例外あり）。

大学の科目は大きく二つに分かれる!!

大学で履修する科目は、大きくは「一般教育科目」と「専門教育科目」とに分かれます。それぞれで満たさなくてはならない単位数は、学部学科によって異なります（『履修の手引き』1ページ）。たとえば、生物資源学科は最終的に、「一般教育科目」を40単位以上、「専門教育科目」を90単位以上、合わせて130単位以上取らなければなりません。

履修しなおし(再履修)のチャンスはある!!

途中で出席できなくて出席日数が足りなくなったり、期末試験を受験しない、あるいはレポートの課題を出さなかったりすると、不合格になり単位が取得できません。病欠など、理由が考慮されることはあります。けれども不合格になった科目は、翌年以降開講される限り、合格するまで何度も履修できます。ただし、いくつかの科目は毎年必ず開講されるとは限りませんので、注意してください。

自分の時間割を作る

一般的な注意点!!

- 「一般教育」の語学・情報・導入ゼミ等は1年生向けに事前に、あるいは抽選でクラス分けされ時間割指定されます。
- 『履修の手引き』の各学科の「カリキュラム表」にあるように、「専門教育」は履修年次ごとに科目が配置してあります。さしあたり1年次配当分から選んでください。
- 1年次配当でも手元の時間割にないものは、後期の開講か今年度不開講になります。
- 週2コマの履修が前提になっている科目があります。従って、それらを履修するには2コマ両方を登録する必要があります。
- 集中講義については、今回の登録とは別に登録する必要があります。
- 履修登録できる単位数には年間50単位未満（最大49単位）という制限があります。これをCAP（キャップ）といいます（集中講義はこの枠から外れます）。前期に登録しすぎて勉強が追いつかず、たくさん不合格になったので後期で取り返そうとしても、CAPのせいでもともと登録できない、ということがありえます。詳しくは『履修の手引き』3ページの（6）を読んでください。

時間割の作り方の手順

以上を踏まえ、以下の順番で時間割のコマを埋めてゆきます。

■第1段階

あらかじめ時間割の中で自分に指定されている科目を確認します。『履修の手引き』（14ページ）と時間割を見比べながら、次の1から4の順番に埋めてゆきます。

1. 専門の必修科目を確認して、コマを埋めます。
2. 水曜日2限目は「導入ゼミ」。（マニュアル5ページ目やシラバスを見て選び、「抽選科目申請システム」で抽選申請を行う）
3. 自分に指定された「英語Ⅰ」のクラス。
4. 自分に指定された「情報基礎演習」のクラス。

■第2段階

抽選に参加しなければならない外国語の時間割を決めます。これは「抽選科目申請システム」で抽選申請を行います。

5. まず「英語以外の外国語」を1セット選びます。「英語以外の外国語」は週2コマで1セットになっています。時間割をよく見てコマの組み合わせを確認の上、「抽選科目申請システム」のメニューの中から希望順に申し込んでください。
6. 英語Ⅱa,Ⅱbからいずれか1つを選びます。これは週1コマです。時間割でコマの位置を確認して、希望の科目名を選び、「抽選科目申請システム」に申し込みます。

抽選の結果を確認して、時間割を埋めます。第1段階と第2段階で、英語2コマと「英語以外の外国語」2コマ、計4コマの外国語をとれるようにするのが標準的です。

■第3段階

7. 残りの空いたコマに一般教育の自由科目や、専門の選択科目を入れてゆきます。無理な取り過ぎに注意しましょう。『履修の手引き』（3ページ）の（6）と29ページの表をよく理解した上で、何コマとるかを決めてください。全体で17コマ前後が標準でしょう。

■教職免許を取りたい人は

「教育職員養成課程」を履修する場合は、各学科の卒業要件単位を越えて単位を取得する必要があります。『履修の手引き』(229 ページ以降)をしっかりと読んでください。詳しい説明を、木曜1限目の教育心理学と金曜5限目の教師論の授業で行いますので、教職に関心のある人は参加してください。

「最終募集のお知らせページ」に記載してあるメールアドレスに、4月28日(火)正午までに希望科目を申請してください。希望が多い場合は抽選の上、最終受講者を確定します。

履修登録のスケジュールとアクセス先

日にち	内容	アクセス先と参照資料
4/15(水)~19(日)	抽選科目(導入ゼミ、英語Ⅱa/b、英語以外の外国語)の抽選科目申請。申請は指定された期間内で行う。	「県大トップページ」→「令和2年度前期オリエンテーション」から「抽選科目申請システムへ」
4/21(火) (「履修登録確認表」は、5/31(日)まで確認可能)	抽選科目の結果発表。「Proself」(注1)より「履修登録確認表」で抽選結果を確認。 英語Ⅱa/b、英語以外の外国語で、抽選に外れた場合は、「定員に余裕のあるクラス一覧」(注2)を確認。 一覧より受けたい授業を選択し、 そのメールアドレスを見て担当教員に連絡し、受講できるか確認。	(注1)「Proself」について 「県大トップページ」→「在学生の方」→「コンピュータの利用」→「Proself」 ※詳細は、上記「コンピュータの利用」→「学務関連のオンライン配布文書の閲覧・取得の方法」参照 (注2)「定員に余裕のあるクラス一覧」の掲示は「県大トップページ」→「令和2年度前期オリエンテーション」を確認のこと
5/4(月)	授業開始。導入ゼミ・外国語は、抽選で決定した授業へ。情報の必修科目は各学科の授業へ。その他の科目は、それぞれの授業に参加。	「県大トップページ」→「令和2年度前期オリエンテーション」
6月初旬頃~1週間程度(予定)*	抽選科目以外の履修登録。登録は指定された期間内で行う。	「履修の手引き」P23 「第2章 履修登録」参照
履修登録期間終了後~1週間程度(予定)*	履修登録確認期間(Proself)。必ず「履修登録確認表」で、登録を行った講義が正しく記載されていることを確認する。画面上での確認だけでは登録されていない可能性がある。	「Proself」について 「県大トップページ」→「在学生の方」→「コンピュータの利用」→「Proself」 ※詳細は、上記「コンピュータの利用」→「学務関連のオンライン配布文書の閲覧・取得の方法」参照

(予定) *・・・日程が決まり次第、HPによりお知らせします。

履修方法がわからない人は

■一般教育の履修に関するQ&A集を見る

授業や履修について分からないことがあれば、まず「一般教育の履修に関するQ&A集」(<http://eport.f-leccs.jp/GuidanceQandA>)を確認して下さい。

■それでも解決しない場合は、学生相談担当の教員(「学生生活の手引き」(学生相談)参照)や、導入ゼミの担当教員に相談しましょう。



一般教育の履修に関するQ&A集 QRコード

一般教育にかかわるくわしい説明

一般教育の単位について

- 一般教育の卒業要件単位は、学部学科によって異なります。「履修の手引き」29 ページにある「一般教育の履修【20 年度入学生】」で、自分の学科の卒業要件単位を確認してください。
- 一般教育には、ゼミ・外国語・体育・情報からなる 1 単位の「基礎科目」と、色々な分野にわたる 2 単位の「自由科目」があります。

例：生物資源学部

授業科目の区分		単位数	生物資源学部
基礎科目	導入ゼミ	1	1
	教養ゼミ		
	外国語		8 以上
	体育		1 以上
	情報		2 以上
基礎科目必要単位数			15 以上
自由科目	A 群	2	10 以上
	B 群		
	C 群		
卒業要件単位数			40

英語 2 コマ (英語 I + 英語 II a/b 各 1 単位) は必修なので、それ以外に 6 単位を履修しなければならない

体育実技 I は必修、II と III は選択、各科目 (種目ではない) 1 単位ずつ履修できるので、最大で 3 単位修得できる

上の数字を足すと 12 となり、あと 3 単位=週 1 コマ授業 3 つの履修が必要、教養ゼミ・外国語・体育・情報などを履修する

「基礎科目 15」+「自由科目 A 群 10」=25 となり、不足の 15 単位は、自由科目 A・B・C 群、基礎科目の教養ゼミ・外国語・体育で取る

抽選(導入ゼミ、英語 II a/b、英語以外の外国語、体育)について

- 「導入ゼミ」「英語 II a/b」「英語以外の外国語」には抽選があります。「体育」も抽選科目ですが、2020 年度前期は開講しません。
- 4 月 15 日(水)から 19 日(日)の間に、大学ホームページのトップにある「令和 2 年度前期オリエンテーション」の中の「抽選科目申請システム」にアクセスし、自分の受たい授業の抽選科目申請を行ってください。英語 II a/b、英語以外の外国語は、必修科目が入っていない時間帯のコマから選びます。(詳しくは 2 ページ目の時間割の作り方参照)
- 抽選結果は、プロセルフの中の「履修登録確認票」で確認をしてください(3 ページの履修登録スケジュールを参照)。
- 導入ゼミの抽選ですべての希望に外れた人には、大学から直接ご連絡します。
- 英語 II a/b、英語以外の外国語にはずれた人は、初回授業開始までに担当教員にメールで直接申請。担当教員のメールアドレスは、シラバスを参照のこと。メール定員に余裕があり受け入れ OK ならば、承認した教員経由で手続きを行う (自分で Web 登録は不要)。

導入ゼミ・体育・外国語・情報・自由科目の説明

科目名の前にあるマークの●は必修科目、○は選択科目、◎は選択必修科目です。

■導入ゼミ・教養ゼミ (新生が大学での勉強のしかたを学ぶ少人数授業)

1. ゼミの種類

- 導入ゼミ 前期開講の必修科目。全員が水曜 2 限に一齐に受講する。
- 教養ゼミ 後期開講の選択科目。基礎科目。

2. 希望ゼミの登録手続き

4月15日(水)-19日(日)に、31クラスの中から第1~10希望を選んで抽選科目申請を行う。

3. 導入ゼミ(水曜2限) テーマ一覧 ※1つのテーマしか履修できないので注意

テーマ	教員名	テーマ	教員名
東洋を語ろう	亀田	マンガから始める自閉症の理解	清水聡
数の文化	田中武	子どもの放課後活動の社会学・入門	加藤ま
文芸作品との対話	木村小	インターネット社会の歩き方	徳野
国際政治	島田洋	ヨーロッパの都市と芸術	北村
ちょっと考える	大石	ヨーロッパの歴史と文化	松本
アフリカにふれる	杉村	『学校あるある』を考える	國崎
「知」の探求	塚原	なぜ?から考える科学	石丸
音律と音階の科学	中村	はじめての東南アジア	加藤裕
テレビを読もう	山川	福井県の健康長寿を考える	平井一
健康を科学する	石原	論理的な文章を書く	根田
ストレスと心の健康	黒田	『民主主義』を読む	吉村
ことばの仕掛け	森英	プレゼンテーション練習と生命科学の基礎英文	林
福祉とジェンダー	北	生命現象の不思議をテーマとして	朝日
J-POP 論	村井	グローバルに考える	菊澤
観光と地域資源	江川	あなたの日常に生かそう! 化合物の科学と知恵	黒川
地域経済を学ぼう	杉山友		

導入ゼミの
各テーマの
詳しい内容は、
シラバスを見て
確認しよう。



シラバス QR コード

※履修登録時の講義名には、テーマが記載されないため、「教員名」を確認すること。

■体育

1. 体育の種類

- 体育実技Ⅰ：必修科目。団体競技。できるだけ1年次のうちにとっておくこと。
- 体育実技Ⅱ：選択科目。個人競技。
- 体育実技Ⅲ：選択科目。夏期集中のスクーバダイビング、冬期集中のスキー。

2. 体育 履修の際の注意点

令和2年度前期の「体育実技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、すべて閉講することになりました。学生の皆さんの健康と安全および感染拡大防止を最優先に考え、このような判断に至りました。

後期は開講を予定していますが、今後の感染状況によって、内容の変更や閉講の可能性もあります。体育の履修に関する情報は、本学のウェブサイト等に掲載します。随時更新されるので、最新情報を確認してください。

■外国語

卒業に必要な外国語の単位は8単位ですが、基礎科目を合計15単位以上取らなければならないので、実際には多めに取ることを考えて計画しましょう。

1. 外国語の種類

- 英語Ⅰ：必修科目。週1コマ。指定のクラスに参加する(配布資料：英語Ⅰクラス指定を参照)。
- ◎英語Ⅱa/b：選択必修科目。週1コマ。ⅡaかⅡbのどちらかを必ず履修しなくてはならない。
- 英語以外(中国語、韓国朝鮮語、ドイツ語、フランス語、ロシア語)：選択科目。週2コマ。
- 外国語特講：選択科目。毎年異なった言語を学ぶ外国語の特別講義。週1コマ。

2. 英語 履修の際の注意点

「英語Ⅰ」：前期のみ、週1コマ、1単位。クラス指定なので、登録不要。

「英語Ⅱa/b」：週1コマ、1単位。4月15日(水)-19日(日)に希望の授業を抽選科目申請する。

- 内容は「リーディング」「リスニング」「ライティング」「スピーキング」「TOEIC」など
- 英語Ⅱa：授業が主に英語で行われるクラス
 - 英語Ⅱb：授業が主に日本語で行われるクラス

「英語基礎」(準備科目 1単位)：1年次前期、週1コマ(水曜5限)

履修対象者は、別途指定する。卒業要件の単位には算入されないが、履修対象者には「英語Ⅰ」の単位修得要件となる。

「英語特論」(自由科目 2単位)

1年次生は、担当教員の許可により受講可(メールで連絡すること)。

3. 英語以外の外国語 履修の際の注意点

4月15日(水) - 19日(日)に希望の授業を抽選科目申請する。

いずれの言語も必ず週2回ある授業をセットで受講しなければならない。

「ロシア語」は2人の先生が週1回ずつ担当するが、片方だけの履修はできない。

4. 短期海外語学研修

「LEAP」：英語。研修先は「アメリカ」「イギリス」「オーストラリア」「カナダ」

「LCAP」：中国語。研修先は一箇所(複数の候補から選択)

※LEAP詳細はウェブサイトを参照してください。 →

<https://guideleap.wixsite.com/english>



LEAP 詳細

QR コード

■情報

1. 情報の種類

●情報基礎演習(選択必修科目)：

パソコンの基本操作を学ぶ。1年次前期は原則これを履修する。「情報基礎演習 クラス指定一覧表」を確認し、指定のクラスに参加すること。

初回の授業には「ユーザID通知書」が必要

○情報処理基礎演習、統計処理演習(選択必修科目)：

Excelの基本操作、統計解析を学習する。通常は1年次後期または2年次より

○情報処理、プログラミング(選択科目)：1年次後期より

●情報科学Ⅰ(必修科目)：1年次後期

○情報科学Ⅱ(選択科目)：2年次より

■自由科目

1. 自由科目の種類

○A群：大人数で受講する講義形式の授業

(例)社会学、哲学、環境論、芸術学、宇宙科学、福井を学ぶ、など幅広い分野から多数の科目。

注意点 「V 福井と地域社会」のカテゴリーから、必ず1科目以上を選択!

○B群：少人数クラスによる授業

(例)言語文化[2年次以降]、情報処理、プログラミング[1年次後期以降]など。

○C群：2年次以上を対象にした少人数クラスによる授業

(例)学術ゼミ、英語特論(上記)など。